

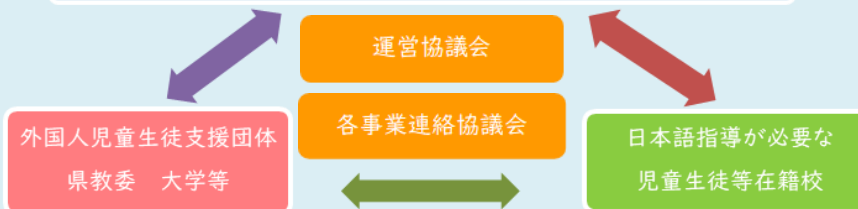
令和7年度 公立学校における帰国・外国人児童生徒受入れにかかるきめ細かな支援事業(神戸市教育委員会)

本年の実施実績

【地域の指導体制の推進等】

- 運営協議会
 - ・総合調整会議
- 各事業連絡協議会
 - ・多文化共生教育推進校連絡会
 - ・外国人児童生徒支援団体との情報交換会
- 外国人児童生徒支援団体
 - ・ひょうご日本語ネット実務者会議(HIA)
 - ・プレスクール(KFC)
- 県教委
 - ・外国人児童生徒等に対する教育支援運営協議会
 - ・就学支援ガイダンス
- 大学
 - ・指導主事の大学派遣(神戸大学)
 - ・デジタルコンテンツ作成(兵庫教育大学)

神戸市教育委員会事務局 学びの推進課 こども日本語サポートセンター



こども日本語サポートセンターによるきめ細かな支援(相談・助言・通訳、対面指導、オンライン指導、DLA等)

日本語指導に関する研究・研修、デジタルコンテンツの研究・開発、ICTを活用した教育・支援の推進

日本語指導加配教員の配置、日本語指導員の支援による「特別の教育課程」実施校増加

日本語指導支援員(小学校JSL教室、中学校JSL教室、拠点型・派遣型初期日本語指導教室)による日本語指導の実施

ランゲージ支援員A(旧子ども多文化共生サポーター)、ランゲージ支援員Bによる母語支援の実施

外国人児童生徒支援団体、兵庫県教育委員会、大学と連帯、協力した支援体制を構築

外国人児童生徒等指導体制の推進、多文化共生教育の推進

具体的な成果

【こども日本語サポートセンター】

- 研修会の実施
 - ・日本語指導加配教員研修会 6回
 - ・日本語指導者養成研修会 6回
- 支援人数 ※12月末時点
 - ・相談・助言・通訳等 延べ774人
 - ・対面指導 延べ2193人
 - ・オンライン指導 延べ717人
 - ・DLA 延べ5人

【特別の教育課程の実施数】

- ・小506人(83校) ・義32人(1校)
- ・中133人(34校) ・高33人(3校)

【支援員の派遣回数】

※12月末時点

- ・チーフコーディネーター 849回
- ・日本語指導員 1344回
- ・日本語指導支援員 小:2272回、中:1932回、拠点型・派遣型1148回
- ・ランゲージ支援員A 3747回
- ・ランゲージ支援員B 5068回
- ・ランゲージコーディネーター 624回

【成果】「こども日本語サポートセンター」による日本語指導の推進、日本語指導が必要な児童生徒等のより豊かな学校生活の支援、受入業務や日本語指導に係る情報及び相談窓口の一元化、学習支援、相談及び研修の実施等

【課題】児童生徒の日本語能力に応じた指導内容や指導法の確立、質の高い日本語指導ができる人材確保、資質向上に関する研修の充実、日本語指導員の訪問指導のあり方、日本語指導加配教員の役割の見直し、授業の通訳支援等の自主学習環境の整備、拠点型・派遣型初期日本語指導の充実、母語を介した生活言語の習得支援から、学習言語レベルでの日本語指導への接続を見据えた系統的な日本語指導支援システムの構築